

行動編

こんな行動が「備え」になる。

「物をそろえたから大丈夫!」とはならないのが防災。日々の生活でのこんな行動がいざという時、あなたやあなたの家族の命を救うかもしれません。

家族と話す

発災時の行動や安否確認の方法、集合場所などは決めていますか? 災害は、家族がそろっているときに発生するとは限りません。

安否確認の方法を

考えよう

地震などの災害発生時には、被災地への通話が集中します。また、首都圏では多くの帰宅困難者が発生し、翌日まで自宅に帰れない人が大勢いました。連絡がとれないと、家族の安否に不安が増します。あらかじめ、家族間で安否確認・伝言の方法を決めておくことで、この不安を拭い去ることがができます。

● NTT 災害用伝言ダイヤル(171)

「171」にダイヤルし、案内に従って録音や再生をします。1回に録音できるのは30秒まで。必要な情報のみを簡潔にまとめましょう。なお、保存期間は48時間です。

● 災害用伝言版(携帯電話)

携帯電話各社による文字を使った安否情報確認サービスです。携帯メニューやアプリケーションから登録画面にアクセスして使用します。お使いの携帯電話会社によって利用のための表示などが異なります。各社のホームページなどでご確認ください。

● SNS の活用

電話と比較して利用できる可能性が高いのがインターネットです。SNS(ソーシャルネットワークワーキン



災害用伝言版(携帯電話)の利用方法

【登録方法】

- ① 「災害伝言板」を選ぶ。
- ② 「登録」を選ぶ。
- ③ 伝えたい項目を選ぶ(「無事です」「避難所に居ます」など)。コメントを入力することもできます。
- ④ 「登録」を選ぶ。

【確認方法】

- ① 「災害掲示板」を選ぶ。
- ② 「確認」を選ぶ。
- ③ 安否確認したい相手の携帯電話番号を入力する。
- ④ 「検索する」を選ぶ。
- ⑤ 確認したい安否情報を選択する。



NTT 災害用伝言ダイヤルの利用方法

【録音方法】

- ① 「171」をダイヤル。
- ② 「1」(録音)を押す。
- ③ 被災地の方はご自宅などの電話番号を入力。被災地以外の方は、被災地の方の電話番号を市外局番から入力。
- ④ 音声メッセージを録音。

【再生方法】

- ① 「171」をダイヤル。
- ② 「2」(再生)を押す。
- ③ 被災地の方はご自宅などの電話番号を入力。被災地以外の方は、被災地の方の電話番号を市外局番から入力。
- ④ 録音内容を確認。